


JFEスチール株式会社 × 横浜市



豊かな海づくりでの取組が 土木学会環境賞を受賞しました！

この度、横浜市と JFE スチール株式会社が共同で実施している『公民連携による「豊かな海づくり」共同研究プロジェクト ～鉄鋼スラグ製品による海域環境改善の実証と環境教育に向けた取組み～』が公益社団法人土木学会で表彰している「令和3年度土木学会環境賞（Ⅱグループ）」※1 を頂くこととなりました。本事業は生物着生基盤造成が新たな付加価値を創出することを示した、他に事例のない画期的なプロジェクトとして、環境保全・創造、信頼性、持続性、そして公民連携により地域一体となった取組が評価され、今回の受賞にいたりました。

※1 土木学会環境賞（Ⅱグループ）とは・・・土木技術・システムを開発・運用し、環境の保全・創造に貢献した画期的なプロジェクトに授与される賞



JFE スチール株式会社常務執行役員 丸山 隆 様(右)
横浜市環境創造局環境科学研究所長 百瀬 英雄 (左)



表彰状

公民連携による「豊かな海づくり」共同研究プロジェクトについて

横浜市では、横浜のシンボルである海が、市民にとってもっと身近で、多様な生き物を感じることができる場になるよう、豊かな海づくりの取組を進めています。

これまで、山下公園前の海域において、横浜市と JFE スチール株式会社は、鉄鋼スラグ製品※2 を使用した浅場※3 を造成し、海の生き物がすみやすい環境づくりの共同研究（裏面参照）を行ってきました。

また、こうした取組や横浜の海の環境を広く知って頂けるようにイベントや発表会などを通して普及・啓発活動を行っています。

※2 鉄鋼スラグ製品とは・・・鉄鋼製造工程において副産物として生成したスラグを加工した製品

※3 浅場とは・・・海や湖の岸。川の瀬などで、水深の浅い場所



山下公園前の海中写真

お問合せ先

環境創造局環境科学研究所長

百瀬 英雄 Tel 045-453-2550

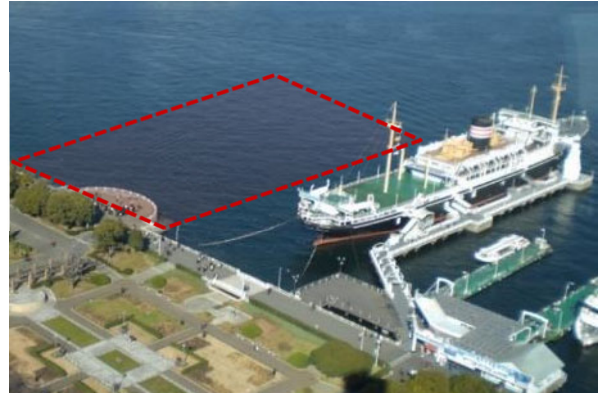
裏面あり

【参考】

共同研究概要

山下公園前に広がる海は、浅場においては良い環境が保たれていますが、海底付近はヘドロ（有機物を多く含む泥）が堆積しており、夏場には著しい水質の悪化がみられます。そのため、生物の産卵場や育成の場としての機能が失われた状態となっています。

共同研究では鉄鋼スラグ製品を用いて磯場（生物付着基盤）を造成することで、生物生息環境を改善し、海域が本来持っている生物による水質浄化能力の回復を図りました。



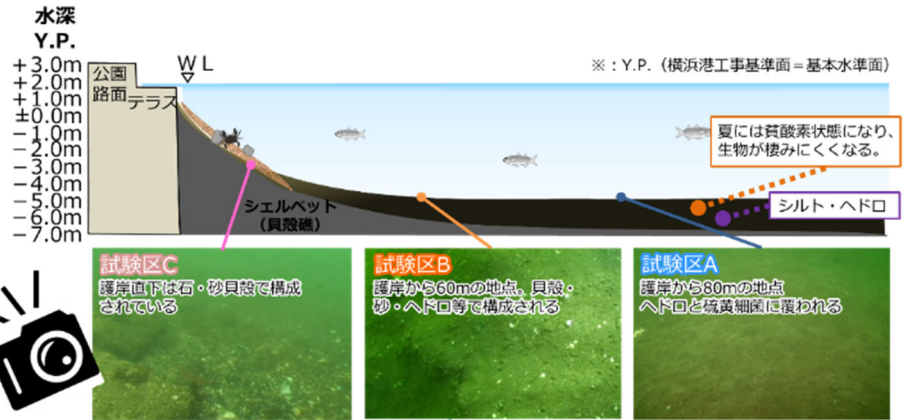
共同研究の実験区域

共同研究の成果

実験開始直後からヒトデやナマコなどの生き物が確認され、その後も生き物の増加が確認されています。

調査の結果、共同研究の期間においてろ過食性生物（二枚貝やホヤなど）によるろ水量を推計したところ、1日当たり8,400kL（25m プール換算で17杯分）の海水をろ過していることが推計されました。

実験前



平成25年10月撮影(開始前)

実験後



平成27年2月撮影